

# 四季の鳥

私たちの近くに息づく野生

[文・写真] 中田一真

## キジ

——分譲地の中心で愛を叫ぶ

私がこのまちに越して来た理由は二つ、大阪への通勤圏内にあったことと、周囲に田んぼや雑木林が残っていたこと。里山を削り、まちの暮らしをそっくり移植してできたこのニュータウンは、まち開きから20年以上経った今も、景気の波に揺られながら拡大を続けている。

初夏の休日、散歩がてら整然と区画された近所の分譲地を見て回る。自分が買うわけでもないのに、ああ、ここは見晴らしが良さそうだな、公園が近くていいなあと、頭の中

で次々に一軒家が建つてゆく。

「ケン、ケーシー!」、バタバタバタ…。唐突に響き渡る雄叫びにビクリとした。キジのホロ打ちだ。大きな声で叫んでは、翼を激しくばたつかせる。原っぱと化した分譲地は彼らの格好の住処<sup>すみか</sup>。その中心で彼は縄張りを宣言し、愛を叫ぶ。

写真の鳥の縄張りには、その後、住宅が建ち並んだ。雑木林の住人が去り、原っぱの住人も去って、われわれまちの人間の新しい暮らしが始まる。



なかた・かずま

1966年生まれ。会社員、野鳥写真家。身近な鳥たちの四季折々の姿を20年撮影し続けている。

【中田一真のホームページ】

<http://www.asahi-net.or.jp/~jx7k-nkt/>

キジ キジ目キジ科  
全長 雄80cm

【撮影地】兵庫県三田市

©NAKATA Kazuma